

お客さまのまごころをさくらに託し、被災地に寄贈

「さくら並木プロジェクト植樹会 3.22 in 石巻」参加レポート
 支援商品のご購入により、石巻市にさくらの苗木3本を植えることができました



株式会社コックスは、東北復興支援活動のひとつとして、2015年3月22日（日）に宮城県石巻市で開催された「さくら並木プロジェクト×オーガビッツ植樹会」に参加しました。当日は快晴のもと、地元やファッションブランドから100名以上の方が集まり、植樹作業に汗を流しました。



「さくら並木プロジェクト」は、東日本大震災時の津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすべく、津波の到達した地にさくら並木の造成を目指す、NPO 法人さくら並木ネットワークの活動です。今回は、2014年度に当社が販売した支援対象商品の販売額の一部から3本のさくらの苗木を寄贈、植樹しました。当社が植樹したさくらは合計4本となりました。

また当日は植樹活動のほか、地元の方々との交流や、石巻市街地の復興状況を知るためのバスツアーも催行され、震災から4年を経てもなお多くの課題が残る、被災地の“いま”を知る機会となりました。

■「誓いの丘」でのさくら植樹■



今回当社からは、支援商品を手掛けた仙台出身のバイヤー、東北エリアの営業マネージャー、ikka 石巻店の店長が参加しました。教えて頂きながら、さくらの苗木を丁寧に植えていきます。



今回の植樹地は、十三浜地区という、北上川の河口にほど近いエリアに設けられた高台「誓いの丘」。津波被害で約 50 名の方が亡くられました。ご家族を亡くし、ご自身も津波に流されながら奇跡的に生き残った千葉五郎さんは、自宅の裏山を整備し、「これからの人生を前向きに明るく生きる」という想いを込め、ここを「誓いの丘」と命名しました。千葉さんの夢は「この場所に慰霊碑を建て、花を植え、地元の方やボランティアが集まれる場所にする。この北上の地を元気にすること。」

この想いを実現させるべく、たくさんの方々の協力のもと、植樹会の開催となりました。



植樹会には地元の小学生など子どもたちも参加。元気いっぱい走り回っていました。

地元の造園業者の方々が準備してくれた大切なさくら。作業の手にも熱がこもります。植えた苗木には、ひとつずつ掘られた石版を付けていきます。



記念としてプレートに 1 人ずつ名前を書かせて頂きました。

丘の後ろの低地は田んぼや畑でしたが、津波の塩害で作付けができなくなったままの状態とのこと。

■地元の方々との交流と石碑の除幕式■

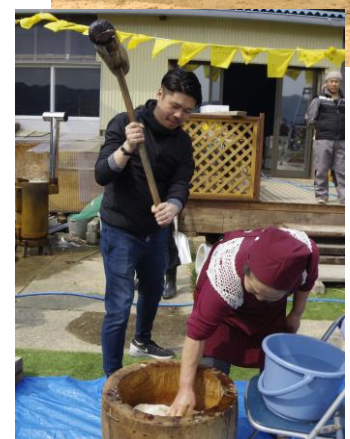
午前中の作業を終えると、地元の方と食事のかねた交流会。帆立ごはんや芋煮など、東北の味を満喫しました。息を合わせ、餅つきにも挑戦。つきたてのお餅は格別でした！

休憩の後は、記念石碑の除幕式です。北上河口と海が望める丘の上の平地。「ここに東屋を建て、さくらが咲くころにお花見ができるようさらに整備したい」と語る千葉さん。

最後に、千葉さんを囲み記念写真を撮りました。



さくら並木ネットワーク、オーガビッツ事務局の方をはじめ、今回の植樹会をサポートして下さった石巻のみなさまのおかげで、とても素敵な植樹会になりました。本当にありがとうございました！このさくらの木を目当てに、たくさんの方が北上を訪れる日を願って…。



■石巻の復興状況■

植樹会の後、「一般社団法人みらいサポート石巻」のボランティアの方の案内で、石巻の湊^{みなと}地区や門脇^{かどのわき}地区を見て回りました。発生から4年経た今も残る震災の爪痕に、言葉が出ませんでした。

門脇地区では、震災前1,800戸あった世帯数が、津波や津波火災の影響などで5戸にまで減少してしまったそうです。公立学校は統廃合が進み、津波火災で校舎が被災した門脇小学校も今年の3月の卒業式で閉校となりました。しかし、同じ3月には、JR女川駅が再開業し、不通となっていたJR石巻線が復旧するという明るいニュースも！一歩一歩、着実に復興への道を歩む被災地で、支援への思いを新たにしました。



まだ瓦礫だらけの時に、地元の個人の方が建てた象徴的なボード。復旧工事が始まると、立ち入り禁止区域になるそう。献花台などが設置されている。

震災前の写真で、みなさんが今いるのはここですよ、との説明。周りは津波に流され、ほぼ一面平地になっている。



止まったままの信号機。海に近いこの道路は、今年4月からやっと復旧工事を開始した。工事期間は3年間。かさ上げた高盛り土道路にするとのこと。



ポール上部のプレートの位置まで津波が到達した。

■当社の「さくら並木プロジェクト」への取り組み■

当社は、東日本大震災の被災地の一日も早い復興を願い、ファッション企業としてできる支援活動に取り組んでおります。今回植樹を行なった「さくら並木プロジェクト」へは2014年より参加しています。昨年は、主幹ブランドの「ikka」よりオーガニックコットン「^{オーガビッツ}orgabits」を使用した支援付き商品を販売しました。多くのお客さまのお買い上げにより、販売額の一部、約94,000円を同プロジェクトへ寄付することができました。この金額は、さくらの苗木4本分に相当します。2014年度は、仙台市若葉区に1本、石巻市に3本のさくらをそれぞれ寄贈しました。

本年も2月より、春向けの支援対象商品をメンズ・レディースそれぞれで発売しています。



※商品の一例



↑専用の下げ札が目印です

「ikka x さくら並木プロジェクト 2015」

商品例：オーガビッツ SAKURA メンズ パーカー

価格 4,800円 + 税
 カラー ライトグレイ・ネイビー・ピンクホワイト
 サイズ M・L・LL
 特長 オーガニックコットン10%使用。
 シンプルで合わせやすいコットンパーカー。
 ピンクは派手すぎない「さくら色」です。